

令和6年度 西岳中学校 学校評価書

目標		自己評価	現状分析	次年度への対策	学校関係者評価	
					評価	コメント
最重点事項 (担当分掌部)	「考え、表現する学習」、「学習の振り返り」ができる生徒の育成	B	○ 小中一貫教育の共通実践事項を基に、本校の主題研究「自分の意見や考えを表現する児童生徒の育成」に取り組んできた。そのため「考え、表現する」学習については100%の評価となった。 ○ 「学習の振り返り」については全体で73.9%とやや不十分な状況が見られる。教師が、85.7%に対して、保護者の評価62.5%、生徒の評価73.5%であり家庭学習での振り返りが定着していないと思われる。	○ 「考え・表現する学習」に対する手立ては、本年度の手立てを継続する。 ○ 「学習の振り返り」については、特に1年生に落ち込みが見られるため、家庭への啓発を行っていく。	B	○ 学校だよりから分かるように1～3年生全員に発表させるのはとてもよい取組だと思います。
ア 確かな学力の向上 (教務学習部)	○ わかる授業をめざしての指導方法の工夫改善	B	○ わかる授業に関しては、生徒の評価が100%であり、主題研究における授業研究やICT機器の活用を通して、概ね達成できている。 ○ 望ましい学習習慣については、課題を締切りまでに出せている生徒が66.7%と不十分な状況にある。また、「家庭教育の充実」を見ると、家庭学習が習慣化している生徒が66.7%と同様に不十分な状況にある。	○ 望ましい学習態度・学習習慣の確立のためには、家庭でやるべきことと学校でやるべきことの区別をしっかりとつけられるように指導を行う。 ○ Qubenaの時間配信を上手く活用して家庭で勉強に取り組ませる。その配信時間に勉強に取り組むよう家庭にも協力してもらう。	B	
	○ 望ましい学習態度・学習習慣の確立					
	○ 個別最適な学びの充実					
	○ 特別支援教育の充実					
	○ 家庭教育の充実					
イ 豊かな心の育成 (生指保体部)	○ 教員全員で行う道徳の授業の充実	A	○ 教員全員で道徳の授業を行うことで、93.7%と期待以上の評価となっており、授業の充実を図ることができた。 ○ 規範意識については、89.3%と高い評価になっており、生徒集会等で、自ら作成した動画を視聴するなど、校則や生活に関する意識の向上を図ることができた。一方、リーダーとして活躍したと感じた生徒が68.8%と不十分な状況にある。 ○ 体験活動の充実では、航海体験や陶芸体験、しめ縄作りなど特色ある体験活動を行うことができ、100%の評価となった。 ○ コミュニケーション能力の向上については96.9%となっており、小規模校の利点を活かし、授業や学校行事、生徒会活動等を通して、生徒同士や生徒と教師のコミュニケーションを通して向上を図ることができた。 ○ 積極的な生徒理解については、生徒の評価93.8%となっており、小規模校ならではの、きめ細かな生徒理解を行うことができた。	○ 次年度も全教員による道徳授業の実施を継続する。 ○ リーダー育成に関しては、様々な生徒がリーダーとして活躍できる場の設定をするとともに、一人一人の活動状況进行评估し、自己有用感を高めていく。 ○ 体験活動については、本年度同様に体験活動の充実に取り組んでいく。 ○ コミュニケーション能力については、引き続き、全教育活動を通して向上を図っていく。 ○ 積極的な生徒理解については、教育相談やスクールカウンセラーの活用等を更に充実し、よりきめ細かに行っていく。	A	○ 全体的にはBで良いとは思いますが、インターンの様な会社については、もう少し打ち合わせをさせてもらえれば協力できる気がします。 ○ 少人数なので高校に行った時のメンタルケアが必要だと思います。
	○ 規範意識の確立、リーダーの育成					
	○ 体験学習の充実					
	○ コミュニケーション能力の向上					
	○ 積極的な生徒理解の推進					
ウ 健やかな体の育成 (生指保体部)	○ 個別指導による心身の健康の充実	B	○ 個別指導による心身の健康の充実については、正しい姿勢79.1%、計画性のある生活76%、朝食の摂取率66%となっており、朝食を食べている生徒の割合がやや不十分な状況である。 ○ 体力づくりの充実は61.1%となっており、体育科のサーキットトレーニングなどを中心に進めているが、屋休みの外遊びや家庭での運動量が不足しているため不十分な状況になったと考えられる。 ○ 安全指導・防災教育については安全指導が93.3%、防災教育が100%となっており、不審者対応避難訓練や防災講話等を通して、生徒の意識の高まりが見られる。	○ 委員会活動等を通して姿勢や生活習慣に対する指導・啓発を行う。 ○ 保健だよりや給食だよりを活用して朝食を摂るよう指導する。 ○ 屋休み時間に委員会活動等が入ることもあるので、外遊びばかりを優先できない現状もあるが、生徒会活動等のない日は外遊びを奨励していく。 ○ 委員会活動等を通して安全指導を行う。 ○ 避難訓練に関しては肯定的な回答が100%であった。来年度も実際に災害を起こることを想定して、自分事として取り組ませていく。	B	○ 外遊びを楽しんでもらいたい。陽に当たり走り、体力をつけてもらいたい。 ○ 登下校時・休日等に積極的にあいさつをしている。また、小学生との登下校時に優しく接している。
	○ 体力づくりの充実					
	○ 安全指導・防災教育の徹底					
	○ 食に対する研修の充実					
エ 地域への積極的な参画 (教務学習部)	○ 地域人材・素材の積極的な活用	B	○ 地域人材・素材の積極的な活用については100%となっており、わたげふれあいランドゴルフ大会、職業講話、陶芸教室、少林寺拳法の授業など様々な学校行事で活用を行った。 ○ 地域等行事への積極的な参加は、3回以上地域行事へ参加した生徒の割合が、68.8%となっており、昨年度41.2%よりも大幅に増加している。 ○ 学校からの積極的な情報発信については、63.7%となっており、学級通信・学校だよりの閲覧状況が昨年度90.9%よりも大きく低下している。また、ホームページの視聴回数も、0回28.2%、10回未満72.2%、10回～20回9.1%、20回以上0%となっており、全く視聴していない家庭が約30%となっている。 ○ コミュニティスクールの推進については、学校運営協議会の出席率が、57%（第4回西岳中で実施）となっている。	○ 来年度も、積極的な活用を目指し、行事等を計画していく。 ○ 地域の行事に参加していく意識が高まっているので、今後も啓発に努めていく。 ○ 学級通信・学校だより、ホームページについては、保護者に見てもらえるように、例えば学校だよりにホームページのリンクを貼るなどの工夫や内容の充実を図っていく。 ○ 学校運営協議会は、屋間の開催であり、仕事をされている方が多いため開催時間等を検討していく必要がある。	B	○ 地域の行事(千足神社六月灯祭、西岳地区ふれあい文化祭)などへの積極的な参加が見られ、大変良い行いだと思います。 ○ 今後とも様々な行事に参加していただき、地域住民とのふれあいを通じて、たくさんの経験を積んでいただければと思います。 ○ 楽しくて何度も見たくするようなホームページにして欲しいと思います。
	○ 地域等行事への積極的な参加					
	○ 学校からの積極的な情報発信					
	○ コミュニティスクールの推進					